SPA300/SPA500シリーズIP Phoneでのセッション開始プロトコル(SIP)タイマー値の設定

目的

セッション開始プロトコル(SIP)は、IPベースのネットワークでセッションを作成、管理、および終了するために使用されるシグナリングプロトコルです。SIPは、コール管理のメカニズムです。また、ユーザロケーションの確立、機能ネゴシエーションの提供を行い、セッションの参加者全員がサポートする機能について合意し、進行中のセッションの機能に変更を加えることができます。

このドキュメントの目的は、SPA300およびSPA500シリーズのIP PhoneでのSIPタイマー値の設定を示すことです。

該当するデバイス

- SPA300シリーズIP電話
- SPA500シリーズIP電話

SIPタイマー値の設定

注：実際のSPA300またはSPA500シリーズのIP Phoneセットシグナリングプロトコルを**SIPと**し、ナビゲーションキーを使用して**[Device Administration] > [Call Control Settings] > [Signaling Protocol SIP]に移動します。**

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、**[Admin Login] > [Advanced] > [Voice] > [SIP]を選択します。**[*SIP*]ページが開きます。

SIP Parameters			
Max Forward:	70	Max Redirection:	5
Max Auth:	2	SIP User Agent Name:	$VERSION
SIP Server Name:	$VERSION	SIP Reg User Agent Name:	
SIP Accept Language:		DTMF Relay MIME Type:	application/dtmf-relay
Hook Flash MIME Type:	application/hook-flash	Remove Last Reg:	no
Use Compact Header:	no	Escape Display Name:	no
SIP-B Enable:	no	Talk Package:	no
Hold Package:	no	Conference Package:	no
Notify Conference:	no	RFC 2543 Call Hold:	yes
Random REG CID On Reboot:	no	Mark All AVT Packets:	yes
SIP TCP Port Min:	5060	SIP TCP Port Max:	5080
CTI Enable:	no	Caller ID Header:	PAID-RPID-FROM
SRTP Method:	x-sipura	Hold Target Before REFER:	no
Dialog SDP Enable:	no	Keep Referee When REFER Failed:	no
Display Diversion Info:	no		

SIP Timer Values (sec)			
SIP T1:	.5	SIP T2:	4
SIP T4:	5	SIP Timer B:	16
SIP Timer F:	16	SIP Timer H:	16
SIP Timer D:	16	SIP Timer J:	16
INVITE Expires:	240	ReINVITE Expires:	30
Reg Min Expires:	1	Reg Max Expires:	7200
Reg Retry Intvl:	30	Reg Retry Long Intvl:	1200
Reg Retry Random Delay:	25	Reg Retry Long Random Delay:	0
Reg Retry Intvl Cap:	35	Sub Min Expires:	10
Sub Max Expires:	7200	Sub Retry Intvl:	10

Response Status Code Handling			
SIT1 RSC:		SIT2 RSC:	
SIT3 RSC:		SIT4 RSC:	

ステップ2:[SIP T1]フィールドにRFC-3261 T1の値を入力します。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルト値は 0.5 秒です。

ステップ3:[SIP T2]フィールドにRFC-3261 T2の値を入力します。これは、非INVITE要求およびINVITE応答の最大再送信間隔です。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 4 秒です。

ステップ4:[SIP T4]フィールドにRFC-3261 T4の値を入力します。これは、メッセージがネットワークに残る最大期間です。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 5 秒です。

ステップ5:[SIP Timer B]フィールドにRFC-3261 INVITEトランザクションタイムアウト値を入力します。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 16 秒です。

ステップ6:[SIP Timer F]フィールドにRFC-3261 Non-INVITEトランザクションタイムアウト値を入力します。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 16 秒です。

ステップ7:[SIP Timer H]フィールドに、ACK受信のRFC-3261 INVITE最終応答タイムアウト値を入力します。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 16 秒です。

ステップ8:[*SIP Timer D*]フィールドに、再送信のRFC-3261待機時間を入力します。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 16 秒です。

ステップ9:[SIP Timer J]フィールドに、非INVITE要求の再送信に対するRFC-3261待機時間を入力します。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 16 秒です。

ステップ10:[ReINVITE Expires]フィールドにReINVITE要求の期限切れヘッダーの値を入力します。範囲は0 ~ 1999999999999999999999999999999999秒です。0を入力すると、Expiresヘッダーは要求に含まれません。デフォルトは 30 秒です。

ステップ11：プロキシから許可された最小登録有効期限を「*Reg Min Expires*」フィールドに入力します。プロキシがこの設定より小さい値を返した場合は、2つの値のうち最小値が使用されます。デフォルトは1秒です。

ステップ12:[*Reg Max Expires]フィールドにプロキシから許可される最大登録有効期限を入力します。*この設定より大きい値の場合は、2つの値のうち最大のものが使用されます。デフォルトは7200秒です。

ステップ13:[Reg Retry Intvl]フィールドに再試行*間隔を入力*します。以前の登録時に失敗した後、Cisco IP Phoneが登録を再試行するまでの間隔です。範囲は1 ~ 268435455秒です。デフォルトは 30 秒です。

ステップ14:[*Reg Retry Long Intvl]フィールドに再試行間隔を入力します。SIP応答コードがRSCの値と一致しない場合*は、IP電話は再試行までこの時間を待機します。この値は再試行間隔0です268435455秒デフォルトは 1200 秒です。

ステップ15:[Reg Retry Random Delay]フィールドに再試行ランダム*遅延を入力*します。失敗後にREGISTERを再試行すると、ランダムな遅延がRegister Retry Intvl値に追加されます。範囲は0 ~ 268435455秒です。デフォルトは0で、この機能を無効にします。

ステップ16:[Reg Retry Long Random Delay]フィールドにリトライの長いランダム*遅延を入力*します。エラーが発生した後にレジスタの再試行を行うと、ランダムな遅延がRegister Retry Long Intvl値に追加されます。デフォルトは0で、この機能が無効になります。

ステップ17:[Reg Retry Intvl Cap]フィールドに、指数遅延の最大値を*入力し*ます。これはRegister Retry Intvlから開始され、再試行のたびに2倍になります。範囲は0 ~ 268435455秒です。デフォルトは0で、この機能を無効にします。

ステップ18:[*Sub Min Expires]フィールドに登録の下限を入力します。このフィールド*は、プロキシサーバから返される値を期限切れにします。範囲は0 ~ 268435455秒です。デフォルトは 10 秒です。

ステップ19：プロキシサーバから返される期限切れ値の*Sub Max Expiresフィールドに登録の上限を入力します。範囲は0 ~ 268435455秒です。*デフォルトは 7200 秒です。

ステップ20:[Sub Retry Interval]フィールドに、最後のサブスクライブ要求の再試行間隔を*入力し*ます。範囲は0 ~ 268435455秒です。デフォルトは 10 秒です。

ステップ21:[**Submit All Changes]をクリック**して、設定を保存します。